

豊田市の幹線道路網整備に関する要望書

世界をリードするものづくり中枢都市 豊田市

生産性の向上

国際競争力の強化

安全・安心なまちづくり

世界につながる
自動車製造ネットワーク

広域的な人流・物流を
支える道路ネットワーク



凡例 — 最重点要望路線



令和4年7月
豊田市幹線道路整備促進協議会



我が国は、新型コロナウイルス感染症の拡大による社会経済、国民生活等への甚大な影響や、気候変動に伴い連年発生する大規模自然災害の深刻な被害に直面しています。また、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた取組やデジタル技術の積極的な活用、新たなライフスタイルを見据えた分散型の国づくり等、新たな時代の課題にも適切に対応しなければなりません。

世界をリードするものづくり産業の中核都市である本市においても、慢性的な交通渋滞による経済損失、南海トラフ地震等の大規模地震の切迫や激甚化・頻発化する風水害、明治用水頭首工漏水事案に象徴される加速化するインフラ施設の老朽化など我が国同様様々な課題を抱えています。

このような状況下において、引続きものづくり産業の中核として日本経済を牽引していくためには、感染症の拡大防止を前提に社会経済活動の確実な回復と経済好循環の加速・拡大に向けた生産性の向上や国際競争力の強化に取り組むことが重要であります。さらに、防災・減災が主流となる災害や老朽化に屈しない強靱なまちづくりや交通安全の確保など安全・安心な社会の構築が必要です。

これらの取組を進めるうえで、道路はポストコロナ社会の持続的な経済成長を支えるとともに、市民の命と暮らしを守り抜き未曾有の危機を克服する重要な社会基盤であることから、引き続き人流・物流の円滑化や活性化を図る道路ネットワークの機能強化、インフラメンテナンス及びDXの推進など防災・減災、国土強靱化の加速化、通学路等の交通安全対策を積極的に進めていく必要があります。

このような状況を踏まえ、下記の事項について特段の配慮をよろしくお願いいたします。

- 1 防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策に必要な予算・財源を確保し、計画的に事業を推進するとともに、5か年加速化対策後も、予算・財源を通常予算とは別枠で確保して、継続的に取り組むこと**
- 2 経済活動復興や豊かで活力ある地方創りに資する道路ネットワークの整備について、計画的かつ着実に推進すること**
- 3 子供達の安全・安心を守るため、通学路等の交通安全対策の強化・推進と必要な予算を継続的に確保すること**
- 4 道路整備・管理に対する地方の切実なニーズを十分に踏まえ、地方が真に必要なとする国道、県道、市道のいずれもが道路整備・管理を長期安定的に進められるよう新たな財源を創設するとともに、令和5年度道路関係予算は所要額を満額確保すること**

■ 重点要望事項 ■

○太字は重点要望事項

持続的な経済成長の実現

＜物流ネットワークの機能強化＞

○国道 301 号（松平バイパス）の早期整備

○（都）豊田刈谷線（一般県道宮上知立線バイパス）の早期整備

＜高規格幹線道路へのアクセス強化＞

○国道 419 号（四郷拡幅）の早期整備

・国道 301 号（益富拡幅）の早期整備

・国道 419 号（西中山バイパス）の早期整備

豊かで活力ある地方創り

＜市域の一体性・交流を支える道路の整備＞

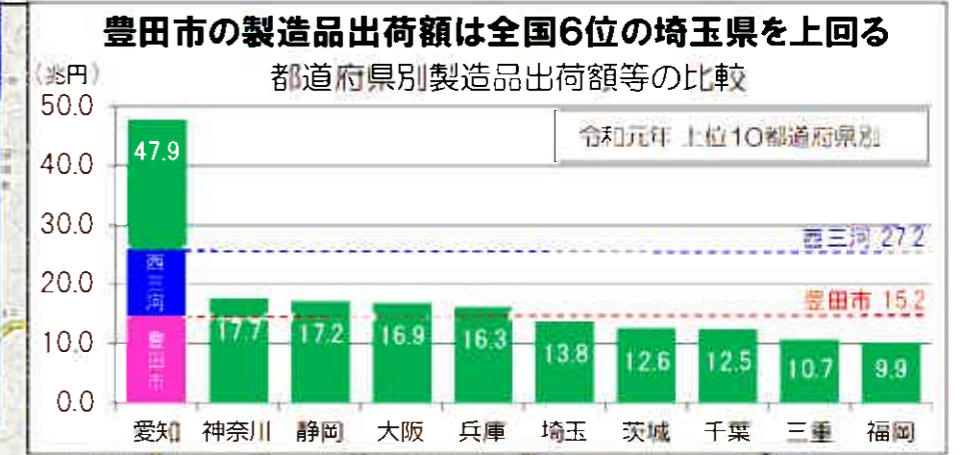
・国道 301 号（根引林添バイパス）の早期事業化

301 ものづくり産業の国際競争力強化に向けた道路整備

国際競争力・都市間競争力を高め、更なる産業の活性化を図るため新たな産業拠点へのアクセス道路の整備が必要です。

国道301号 松平バイパス～トヨタテクニカルセンター下山(Toyota Technical Center Shimoyama)へのアクセス道路整備～

- 下山地区に新たな研究開発施設として開設されたトヨタテクニカルセンター下山は、豊田市が更なるものづくり中枢都市としての持続的成長に資する重要な施設です。
- 施設への安全で円滑なアクセス道路を確保するため、**国道301号の整備は最優先事業**です。



造成地引渡し完了 (令和3年3月24日)
事業面積 650.8ha
予定従業員数 3,850人
通勤及び関係車両 3,700台/日 (うち7割が国道301号を利用)
交通量が約1.3倍に!



ものづくりの技術革新を支える研究開発機能の集積地
トヨタテクニカルセンター下山
令和5年度より本格稼働予定(令和元年より施設の一部運用開始)

交通課題



交通課題



- 人流・物流の円滑化や効率化による生産性の向上等、経済活動を支援
- 第2次緊急輸送道路の4車線化により、緊急時の避難・救助機能を向上

※松平橋～大内町区間において開通区間と旧道(九久平交差点経由)の所要時間を比較

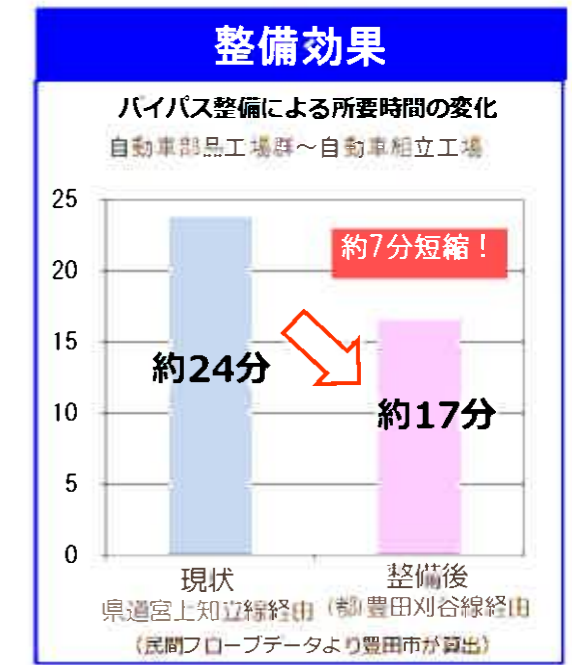
ものづくり産業の基盤を支え、高規格幹線道路へのアクセス性を高める道路整備

国際競争力の激化や労働人口の減少に対応するため、**物流を円滑化し、生産性の向上に資する**道路の整備が必要です。

(都) 豊田刈谷線 宮上知立線バイパス ～刈谷スマートICへのアクセス道路整備～

○豊田市の南部地区は、**自動車産業における主要な工場が集積**しており、**豊田南ICや周辺幹線道路に交通が集中**するため、地域の主要渋滞箇所を中心に慢性的な渋滞が発生しています。

○**円滑な移動を確保し、物流の効率化や安全・安心な道路交通環境を実現**するため、**(都) 豊田刈谷線の整備**が必要です。



- 工場間や刈谷SICへのアクセス性が向上し、国内外に向けたサプライチェーンを強化
- 通過交通や大型車交通の機能分担により、現道区間の混雑の緩和や安全性を向上
- 県道宮上知立線の代替機能を発揮、ダブルネットワーク化により災害発生時においても迅速に交通を確保



※ 乗用車輸出台数 出典：名古屋税関
※ 工場生産台数 出典：トヨタ自動車HP

円滑な人流・物流を確保し、定住人口の増加や、生産性を支えるため、区画整理事業や産業団地の拡張事業に合わせた道路の整備が必要です。

国道419号 四郷拡幅 ～交通需要の増加に合わせた4車線化整備～

- 現在、国道419号周辺では、四郷駅周辺での区画整理事業や花本産業団地の拡張事業などを推進しており、今後、事業の進展に伴い**交通需要が増加**することが見込まれています。
- 既存の主要渋滞箇所を含め、**円滑な市民活動、産業活動を確保**するため、**国道419号の早期の4車線化整備**が必要です。

交通課題

50万人時間/年

四郷町与茂田の交差点は豊田市内で6番目に渋滞の損失時間が大きい交差点

通勤・帰宅時には1kmを超える渋滞が発生

右折車両による渋滞状況 (四郷町与茂田交差点) (写真1)

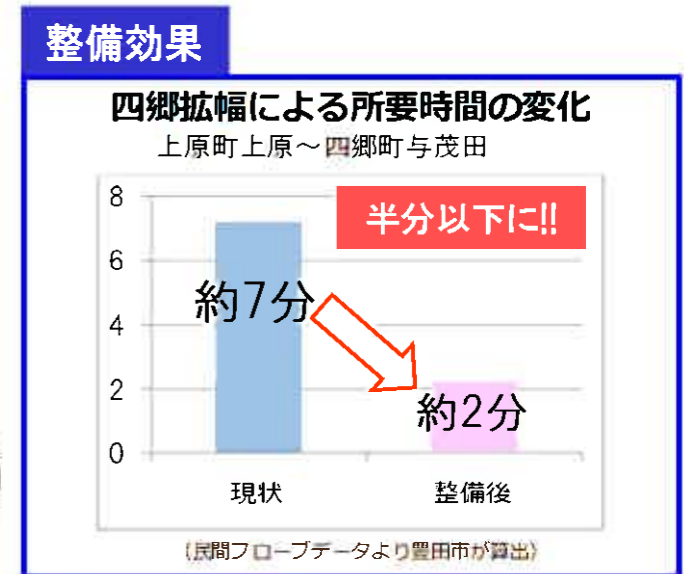
朝の渋滞時の様子 (国道419号) (写真2)



国道419号周辺土地利用状況(R3.12撮影)

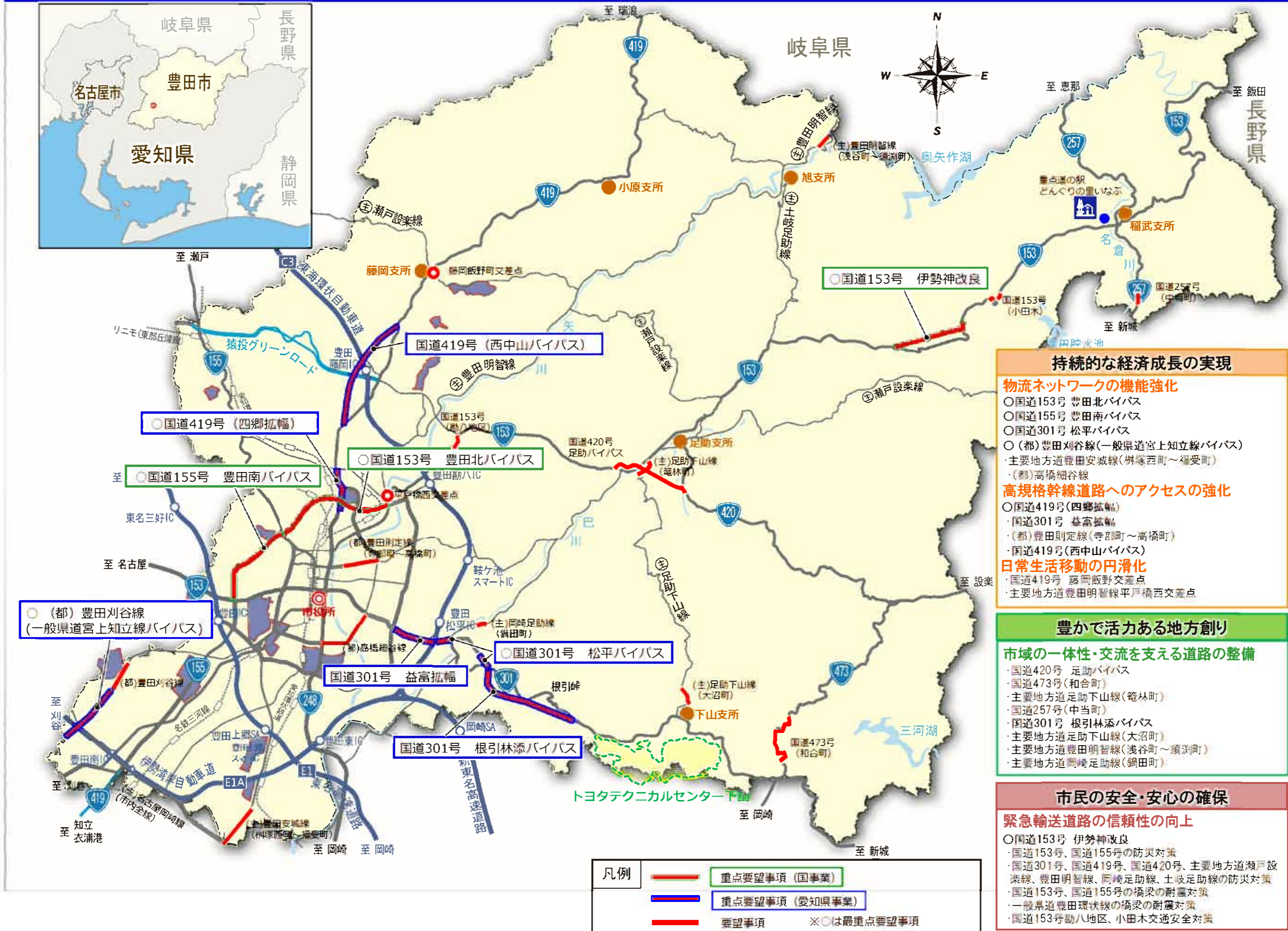
- 道路整備による期待感から土地利用が高度化
- 花本産業団地 18区画(計画含む)
- 四郷駅周辺土地区画整理事業 731戸(計画含む)
- 民間商業施設 12店舗(R4.5時点)

●ICへのアクセス性の向上が更なる生産性の向上に寄与



●交通の円滑化が民間投資・需要を喚起

豊田市の幹線道路網整備等に関する要望路線【位置図】(参考)



持続的な経済成長の実現

- 物流ネットワークの機能強化**
- 国道153号 豊田北バイパス
 - 国道155号 豊田南バイパス
 - 国道301号 松平バイパス
 - (都)豊田刈谷線(一般県道宮上知立線バイパス)
 - ・主要地方道豊田安城線(榑塚西町～福受町)
 - ・(郡)高橋細谷線
- 高規格幹線道路へのアクセスの強化**
- 国道419号(四郷拡幅)
 - ・国道301号 益富拡幅
 - ・(都)豊田則定線(寺部町～高橋町)
 - ・国道419号(西中山バイパス)
- 日常生活移動の円滑化**
- ・国道419号 藤岡飯野交差点
 - ・主要地方道豊田明智線平戸橋西交差点

豊かで活力ある地方創り

- 市域の一体性・交流を支える道路の整備**
- ・国道420号 足助バイパス
 - ・国道473号(和合町)
 - ・主要地方道足助下山線(笹林町)
 - ・国道257号(中当町)
 - ・国道301号 根引林添バイパス
 - ・主要地方道足助下山線(大沼町)
 - ・主要地方道豊田明智線(浅谷町～須沢町)
 - ・主要地方道岡崎足助線(鍋田町)

市民の安全・安心の確保

- 緊急輸送道路の信頼性の向上**
- 国道153号 伊勢神改良
 - ・国道153号、国道155号の防災対策
 - ・国道301号、国道419号、国道420号、主要地方道瀬戸設楽線、豊田明智線、岡崎足助線、土岐足助線の防災対策
 - ・国道153号、国道155号の橋梁の耐震対策
 - ・一般県道豊田環状線の橋梁の耐震対策
 - ・国道153号勘八地区、小田木交通安全対策

令和4年7月21日

豊田市幹線道路整備促進協議会

会長 豊田市長

太田稔彦

豊田市議会議長

板垣清志

豊田商工会議所会頭

三宅英臣